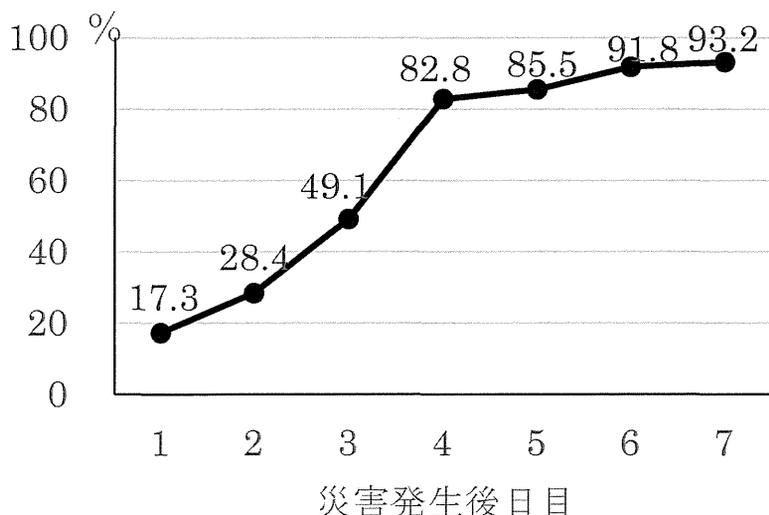


資料2 栄養確保に関する浜松市をモデル地域とした検討

図1 食料の供給が必要な住民の割合



データの出典：平成25年度東海地震についての県民意識調査（静岡県危機管理部情報課）
（何日分の食料を備蓄しているかの調査結果から作成）

表1. 平常時における食品群別摂取量及び購入先

	総数 g/日・人	購入先の構成割合 (%)				
		スーパー	一般小売店	量販専門店等	コンビニ	その他
食料総量	2018.3	60.4	16.6	6.1	2.6	14.3
穀類	439.7	54.7	18.3	6.5	1.7	18.8
肉・魚	158.9	75.8	11.5	4.2	0.4	8.1
野菜・果物	521.9	68.6	14.1	3.4	0.4	13.4
乳・卵	159.7	64.5	18.2	7.5	1.1	8.7

摂取量：平成24年国民健康・栄養調査（全国）

購入先：平成21年全国消費実態調査（浜松市、金額ベース）

嗜好飲料類、菓子類、砂糖類、調味料等は省略（食料総量には含まれる）

表2. 浜松市全体での食料必要量及び購入先の推計値（人口80万人、トン/日）

	総数	スーパー	一般小売店	量販専門店等	コンビニ	その他
食料総量	1633	987	271	99	43	233
穀類	356	195	65	23	6	67
肉・魚	129	97	15	5	1	10
野菜・果物	422	290	60	14	2	57
乳・卵	129	83	24	10	1	11

肉・魚の内訳は、肉 72 トン、魚 57 トン

国民健康・栄養調査による1日当たり摂取量に人口を掛けた。

また、全国消費実態調査による金額ベースの普段の購入先の比率で案分した。

資料3 浜松市における傷病の種類別の患者数の推計

○医療ニーズ

		患者数	うち 死亡者数	致死率		
外傷	単 独 外 傷	頭頸部	4,164	14	0.3%	
		胸部	1,162	6	0.5%	
		腹部	639	29	4.6%	
		四 肢	骨折	1,132	14	1.2%
			挫滅傷	1,100	21	1.9%
			裂(切)創	2,954	1	0.0%
			打撲	3,008	8	0.3%
		その他	963	15	1.5%	
	多発外傷	653	49	7.4%		
外傷合計	16,130	532	3.3%			
感冒	32,984	154	0.5%			
肺炎	807	33	4.1%			

静岡県（2013）の「静岡県第4次地震被害想定（第一次報告）」による約100年～150年に1回程度の発生頻度といわれているレベル1の地震・津波（東海地震、東海・東南海地震、東海・東南海・南海地震、冬・深夜、早期避難率低）による浜松市の重傷及び軽傷者数16,130人について、阪神・淡路大震災復興誌第1巻（兵庫県・21世紀ひようご創造協会、1997）に記載の震災日から7日間における病院及び診療所での取り扱い患者数の傷病の種類の内訳にて案分して推計を行った。

○医療リソース

救護病院 15 か所、医師 1,247 人（うち、災害拠点病院は 4 か所、医師 744 人）

応急救護所 73 か所

診療所 700 か所（うち、整形外科 54 か所、外科系 50 か所）

医師 2,093 人（うち、病院 1,347 人、診療所 639 人）

市・保健師 141 人、助産師 282 人、看護師 6,564 人、准看護師 1,500 人

○医療調整

多発外傷、腹部外傷は、災害拠点病院・救護病院での診療が好ましいか
 単独外傷の骨折、挫滅傷、裂（切）創、打撲は、どこで診療するのがよいか
 状態は落ち着いているが経過観察が必要な患者をどこでみるか

医療施設への患者誘導はどのように行うか、1例ずつ指示するか

医療施設の診療可否・混み具合をインターネットやFMラジオ等で流すか

避難所等において近隣の医療施設の診療可否情報を提供するか

資料4 栄養確保に関する具体的な活動

1. 目標、基本的な考え方

- ・被災者の健康的な栄養摂取を確保することが目標である
- ・避難所にいる被災者だけではなく、在宅の被災者についても考慮する
- ・食物アレルギーや生活習慣病を持つ人などについても考慮する
- ・被災者の栄養確保のためには、食糧流通の上流との調整も行う必要がある
- ・災害発生後の時期に応じて確保すべき水準を上げていく
- ・被災者による自助努力、共助、公助による対応の分担を考慮する

2. 災害発生前のアセスメント及びマネジメント

○重点課題

- ・災害発生前のアセスメントが災害発生後の対応の鍵を握る

○ニーズのアセスメント

- ・(性・年齢階級別) 人口
- ・食物アレルギー、生活習慣病等の人数の推計

○リソースのアセスメント

- ・災害対応用備蓄食糧の種類・量・場所
- ・住民の食糧備蓄状況、農家における米等の備蓄状況
- ・避難所等における調理器具・プロパンガス等の熱源・貯水槽の状況
- ・各地区の住民組織等による自発的な炊き出し等の潜在力の推定
- ・民間事業者等の流通在庫の種類・量・場所、流通拠点

○マネジメント

- ・災害発生時の食糧確保計画、確保依頼ルートの確認

3. 災害発生直後（数時間以内）のアセスメント及びマネジメント

○重点課題

- ・当面の生命維持のための概略を把握する

○ニーズのアセスメント

- ・人的、建物、ライフライン、道路等の被害の状況
- ・避難所別の避難者の人数

○リソースのアセスメント

- ・食糧備蓄場所、流通在庫場所のうち、甚大な被災地内・外の分布

○マネジメント

- ・地域別の避難所避難者数及び備蓄等食糧量の地図を用いた整理

4. 災害発生後数時間後～3日程度のアセスメント及びマネジメント

○重点課題

- ・生存のための食糧を確保する
- ・重篤な食物アレルギー患者等の短期的に生命に影響する栄養ニーズのある被災者に配慮する

○ニーズのアセスメント

- ・避難所別の避難者数
- ・短期的に生命に影響する栄養ニーズのある被災者の把握（避難所からの報告）
- ・各避難所での食糧供給・逼迫の状況（避難所からの報告＋一部の避難所の巡回調査）

○リソースのアセスメント

- ・民間の流通在庫を含めた被災地内の食糧所在の状況
- ・被災地外からの食糧支援（準備）の状況

○マネジメント

- ・地域別の食糧逼迫度の見える化
- ・短期的に生命に影響する栄養ニーズのある被災者についての食糧備蓄及び提供状況の整理

5. 災害発生後4日～1か月のアセスメント及びマネジメント

○重点課題

- ・栄養バランスを考慮した健康的な栄養を確保する、在宅被災者・生活習慣病患者等に配慮する

○ニーズのアセスメント

- ・避難所別の避難者及び地域別の在宅被災者の人数
- ・避難所及び在宅の生活習慣病患者を含めた特別な栄養ニーズのある人数（事前推計値及び調査値）
- ・在宅被災者のニーズ（在宅被災者のサンプリング調査）
- ・避難所別、主食・主菜・副菜別の食料の提供量及び必要量（避難所からの報告＋避難所巡回調査）

○リソースのアセスメント

- ・避難所での炊き出し等の実施状況
- ・食糧供給拠点、弁当等の工場、ライフライン等の復旧状況
- ・食糧販売店及び買い物等への交通手段の復旧状況
- ・栄養支援できる人員

○マネジメント

- ・地域別、主食・主菜・副菜別の避難所における食料逼迫度の見える化
- ・食品販売店の状況などを含めた地域別の在宅被災者の食料逼迫度の見える化
- ・比較的供給能力に余裕のある食品販売店についての広く被災者への情報提供

6. 災害発生後1か月以降のアセスメント及びマネジメント

○重点課題

- ・仮設住宅を含めた中長期的な避難生活への対応

○ニーズのアセスメント

- ・避難所、仮設住宅、在宅別の被災者数
- ・避難場所、疾病状況、社会経済状況別の栄養ニーズ

○リソースのアセスメント

- ・避難所への食料供給体制、献立の状況
- ・食品販売店、移動販売、交通手段等を含めた食料供給状況
- ・会食や配食のリソース、栄養支援できる人員

○マネジメント

- ・地域別、栄養ニーズの種類別の需要と供給の見える化

資料5 衛生環境の確保に関する具体的な活動

1. 目標、基本的な考え方

- ・衛生環境の問題で傷病や死亡に至ることを予防する
低温または高温による傷病（低体温症、肺炎、熱中症など）、
感染症、急性肺血栓塞栓症などの予防に特に留意する
- ・災害発生後の時期に応じて確保すべき水準を上げ、健康確保に加えてより快適な環境を目指す
- ・被災者による自助努力、共助、公助による対応の分担を考慮する

2. 災害発生前のアセスメント及びマネジメント

○重点課題

- ・災害発生前のアセスメントが災害発生後の対応の鍵を握る

○ニーズのアセスメント

- ・（性・年齢階級別）人口
- ・地域住民の衛生知識の状況
- ・月毎の最低気温及び最高気温
- ・健康障害リスクの高い人の人数の推計
（結核その他の感染症患者、高齢者、乳幼児、その他）
- ・その地域独特の感染症、衛生環境のリスクがあるか

○リソースのアセスメント

- ・災害用トイレ（うち洋式、簡易トイレ等内訳）、消毒液等の備蓄について種類・量・場所
- ・毛布、灯油ストーブ、灯油、その他保温のための備蓄品の種類・量・場所
- ・体温計、電池の備蓄状況
- ・避難所の暖房及び冷房の状況、ライフラインの状況別の稼働可能状況
- ・避難所の網戸の有無、蚊取り線香等の防虫剤の備蓄状況
- ・各地区の住民組織等による掃除当番等の編成の潜在力の推定
- ・衛生環境に関する啓発資料（避難所掲示用ポスター等）の備蓄
- ・民間事業者等の消毒液等の流通在庫の種類・量・場所、流通拠点

○マネジメント

- ・災害発生時の衛生環境に関する対応計画、トイレや消毒液等の確保依頼ルートの確認
- ・人口当たり各種リソースの地域別格差の見える化

3. 災害発生直後（数時間以内）のアセスメント及びマネジメント

○重点課題

- ・当面の生命維持のための概略を把握する

○ニーズのアセスメント

- ・人的、建物、ライフライン、道路等の被害の状況
- ・避難所別の避難者数
- ・その季節の気温からみた低温または高温による健康リスク
- ・その時に流行している、また流行が特に懸念される感染症（直近の感染症発生動向調査等）

○リソースのアセスメント

- ・トイレ、消毒液の備蓄場所等のうち、甚大な被災地内・外の分布

○マネジメント

- ・地域別の避難所避難者数及びトイレや消毒液等の備蓄の地図を用いた整理

4. 災害発生後数時間後～3日程度のアセスメント及びマネジメント

○重点課題

- ・短期的に健康を害さずに避難ができる環境を確保する
- ・感染症患者や避難生活による健康障害リスクの特に高い被災者に配慮する

○ニーズのアセスメント

- ・避難所別の避難者数
- ・感染症の患者や、健康障害リスクの特に高い被災者の把握（避難所からの報告）
- ・各避難所での衛生環境の状況（避難所からの報告＋一部の避難所の巡回調査）

○リソースのアセスメント

- ・民間の流通在庫を含めた被災地内の必要資材所在の状況
- ・被災地外からの支援（準備）の状況

○マネジメント

- ・地域別の避難所の衛生環境の良否の見える化
- ・感染症患者や健康障害リスクが特に高い被災者の状況の整理（→避難部屋の移動や移送等の支援）

5. 災害発生後4日～1か月のアセスメント及びマネジメント

○重点課題

- ・健康的で少しでも快適な避難所及び在宅での避難生活を目指す

○ニーズのアセスメント

- ・避難所別の避難者及び地域別の在宅被災者の人数
- ・避難所及び在宅の感染症患者や健康障害リスクの高い被災者の人数（事前推計値及び調査値）
- ・避難所別の温度やトイレやその他衛生環境の状況（避難所からの報告＋避難所巡回調査）
- ・在宅被災者のニーズ（低温・高温、消毒資材のニーズ等）（在宅被災者のサンプリング調査）

○リソースのアセスメント

- ・掃除当番等の体制整備状況
- ・集配拠点にある資機材の種類や量、被災地外からの支援物資の予定
- ・衛生環境支援に当たることができる人員

○マネジメント

- ・地域別の避難所の衛生環境の良否の見える化
- ・感染症患者や健康障害リスクが特に高い被災者の状況の整理（および対応）
- ・掃除当番等の体制構築支援

6. 災害発生後1か月以降のアセスメント及びマネジメント

○重点課題

- ・仮設住宅を含めた中長期的な避難生活への対応

○ニーズのアセスメント

- ・避難所、仮設住宅、在宅別の被災者数
- ・避難場所、疾病状況、社会経済状況別の衛生環境ニーズ

○リソースのアセスメント

- ・仮設住宅を含めて提供可能な資機材
- ・衛生環境支援に当たることができる人員

○マネジメント

- ・ニーズとリソースの整理及びマッチング

資料6 浜松市に関する分担班会議 次第

日時：平成28年3月17日（木）
場所：ホテルクラウンパレス浜松

1. ワーキング会議

①挨拶

②議事

ア 大規模災害時の栄養確保に関する具体的な活動

- 浜松市における計画、取り組み
- 浜松市中央卸売市場における大規模災害対応
- 浜松市食肉地方卸売市場における大規模災害対応
- 静岡県における取り組み
- 南海トラフ地震において浜松市で必要となる食料の推計
- 質疑・検討

イ 大規模災害時の衛生環境の確保に関する具体的な活動

- 浜松市における衛生環境（食品管理）に関する状況
- 浜松市における衛生環境（健康管理）に関する状況
- 質疑・検討

ウ 大規模地震発災直後における死傷者数の推計方法

- 浜松市における震度の把握地点及び方法
- 次年度の研究計画案
- 質疑・検討

エ 医療・公衆衛生調整において扱うべき情報量

- 次年度の研究計画
- 質疑・応答

2. 全体会議

①議事

ア 医療の確保に関する具体的な活動

- 浜松市における計画・取り組み
- 静岡県における計画・取り組み
- 浜松市における種類別の傷病者数の推計
- 質疑・検討

イ 災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）の活動

- 全国衛生部長会災害時保健医療活動標準化検討委員会中間報告の概要
- 浜松市における考え方
- 豊橋市における考え方
- 質疑・検討

ウ その他

- 総合討論

資料6-2 分担班会議出席者名簿（敬称略・順不同）

下記のみなさまに出席いただき、取り組みのご報告、意見交換にご協力いただきました。
心より感謝いたします。

【研究班関係者】

中瀬 克己 岡山大学医療教育統合開発センターGIM部門 教授（研究総括補佐）
犬塚 君雄 豊橋市健康部長兼豊橋市保健所長

【浜松市役所】

渡瀬 充雄 浜松市健康福祉部医療担当部長
西原 信彦 浜松市保健所 所長
板倉 称 浜松市健康福祉部参与（医監）
小石川 邦夫 浜松市健康福祉部次長（健康医療課長）
島 和之 浜松市健康福祉部健康医療課専門監
西崎 公康 浜松市健康福祉部健康医療課技監
矢嶋 芳毅 浜松市健康福祉部健康医療課主任
辻村 あつ子 浜松市健康福祉部健康増進課副参事
外蘭 香里 浜松市健康福祉部健康増進課副技監
小池 恒弘 浜松市健康福祉部保健総務課専門監
永田 隆光 浜松市健康福祉部生活衛生課専門監
山本 和美 浜松市産業部中央卸売市場副参事
中村 佳司 浜松市産業部食肉地方卸売市場課長補佐
高井 伸浩 浜松市危機管理監危機管理課副主幹
栗田 幸紀 浜松市危機管理監危機管理課副主幹
和久田 昌弘 浜松市危機管理監危機管理課主任

【豊橋市】

真崎 唯信 豊橋市防災危機管理課課長
佐野 真司 豊橋市防災危機管理課
安井 祥哲 豊橋市防災危機管理課
藤田 進 豊橋市健康政策課
平野 雅隠 豊橋市健康政策課医師

【静岡県】

岸谷 清満 静岡県危機管理部危機対策課危機調整監
大木 壮太郎 静岡県危機管理部危機政策課主任
土屋 厚子 静岡県健康福祉部健康増進課課長
戸井口 淳子 静岡県健康福祉部健康増進課専門主査
松井 一男 静岡県西部健康福祉センター医療健康部地域医療課課長

【大学関係者】

吉野 篤人 浜松医科大学医学部救急災害医学講座教授
荒木 由布子 静岡大学情報学部情報社会学科准教授
原岡 智子 活水女子大学看護学部准教授

【分担研究班・事務局】

尾島 俊之 浜松医科大学健康社会医学講座教授（研究分担者）
尾関 佳代子 浜松医科大学大学院博士課程大学院生
米山 克俊 日本公衆衛生協会総務課課長
井上 尚子 日本公衆衛生協会総務課

大規模災害時の栄養確保に関する具体的な活動

浜松市健康増進課

1 各期における取組

(1) 発災前

- 関係機関リストの確認
- 長期化した場合の2次被害防止対策（避難所における炊き出しなどの栄養管理）

(2) フェーズ1

- 情報収集
- 人的支援の調整と派遣等
- 外部への派遣要請と調整（日本栄養士会等）

(3) フェーズ2

- 避難者のニーズや健康状態に応じた安全な食事や飲料水が供給されるように調整
- 栄養相談の実施
- 食事制限やアレルギーのある者を把握し、必要な食事が届くよう調整

(4) フェーズ3

- 被災住民の健康状況把握
- 栄養相談の実施
- 避難所での食事内容の確認

(5) フェーズ4

- 要支援者等が気軽に相談できるように様々な職種のチームと連携し、各種健康相談等（医療・保健・栄養・歯科・こころのケアなど）で不安や要望に応える。

2 栄養ニーズのある被災者の把握と対応

- 避難者のニーズや健康状態は保健師が健康相談票（別紙：相談1）を使用し把握
- 食事制限やアレルギーのある者を把握し、必要な食事が届くよう調整
- 日本栄養士会で作成した状況把握シート等（別紙：栄養1～4）を使用し、個別の栄養状況の把握をし支援していく

3 今後の課題

(1) 食品の提供

- 育児用ミルクや食事制限やアレルギーのある者への食品の確保
- 一般被災住民への食糧供給
- 炊き出しメニュー

(2) 管理栄養士等の人材確保

- 避難所、在宅者の栄養相談に対応できる体制整備

										相談1(おもて)						
健康相談票(共通様式)		方法 ・面接 ・電話 ・その他 ()		対象者 乳児 幼児 妊婦 産婦 高齢者 障害者 その他()			担当者(自治体名)									
初回・()回					相談日			年 月 日								
保管先					時間			場所								
基本的な状況	氏名(フリガナ)			性別		生年月日			年齢							
				男・女		M・T・S・H 年 月 日			歳							
	被災前住所			連絡先			避難場所									
							自宅									
	①現住所			連絡先			自宅外:車・テント・避難所			(避難所名:)						
	②新住所			連絡先			家族状況			独居・高齢者独居・高齢者のみ世帯						
							家族問題あり()									
情報源、把握の契機/相談者がいる場合、本人との関係・連絡先																
被災の状況						制度の利用状況										
						・介護保険(介護度)										
						・身体障害者手帳(級)										
家に帰れない理由						・療育手帳()										
自宅倒壊・ライフライン不通・避難勧告・精神的要因(恐怖など)						・精神保健福祉手帳(級)										
その他()						・その他()										
身体的・精神的な状況	既往歴		現在治療中の病気		内服薬											
	高血圧、脳血管疾患、高脂血症、糖尿病、心疾患、肝疾患、腎疾患、精神疾患、結核、難病、アレルギー、その他()		高血圧、高脂血症、糖尿病、心疾患、肝疾患、腎疾患、精神疾患、結核、難病、アレルギー、その他()		なし・あり(中断・継続) 内服薬名()											
					医療器材・器具		医療機関名									
					在宅酸素・人工透析		被災前:									
					その他()		被災後:									
					食事制限		血圧測定値									
				なし		最高血圧:										
				あり 内容()		最低血圧:										
				水分()												
現在の状態(自覚症状ごとに発症時期・持続・転帰を記載)					具体的自覚症状(参考)											
					①頭痛・頭重②不眠③倦怠感④吐き気⑤めまい⑥動悸・息切れ⑦肩こり⑧目の症状⑨咽頭の症状⑩発熱⑪便秘/下痢⑫食欲⑬体重減少⑭精神運動減退/空虚感/不満足/決断力低下/焦燥感/ゆううつ/精神運動興奮/希望喪失/悲哀感⑮その他											
日常生活の状況	食事		保清		衣類の着脱		排泄		移動		意思疎通		判断力・記憶		その他	
	自立															
	一部介助															
	全介助															
備考 必要器具など																
個別相談活動	相談内容					支援内容										
						今後の支援方針 解決 継続										

食事の内容	月 日(曜)に食べたもの		
	朝	(主食 ・ 主菜 ・ 副菜 ・ 牛乳)	
	昼	(主食 ・ 主菜 ・ 副菜 ・ 牛乳)	
	夕	(主食 ・ 主菜 ・ 副菜 ・ 牛乳)	
	【乳児の場合】 (母乳 ・ 粉ミルク ・ 離乳食)		
アレルギーや食事制限	なし		
	あり	除去食 乳 ・ 卵 ・ 小麦 ・ えび ・ かに ・ そば ・ 落花生 ・ その他()	
		エネルギー制限	塩分制限
		たんぱく質制限	脂質制限
その他()			
歯みがきをする時の問題	なし		
	あり	歯ブラシ等ケア用() 水(洗口液等)	
口の中の問題	なし		
	あり	歯が痛む ・ しみる 歯ぐきの痛み ・ 腫れ ・ 血がでている 舌が汚れている 唇や口の中が渴いている 口臭が気になる 口の中が汚れている	
食事の時の問題	なし		
	あり	硬いものが食べにくい(お弁当など) 食事中むせる ・ 咳き込む ・ 痰がからむ その他()	
入れ歯の問題	なし		
	あり	入れ歯がない 入れ歯が壊れている 入れ歯が合わない ・ 噛みにくい 入れ歯の保管ケースがない	
上記以外に、何かありましたらご記入ください			

被災地状況把握シート

記入日 年 月 日

避難所名 () 記入者氏名 ()

避難所の状況	
ライフライン	水道 (使用可 ・ 使用不可) → 給水車 (有 ・ 無) ガス (使用可 ・ 使用不可) 電気 (使用可 ・ 使用不可) 暖房器具 (使用可 ・ 使用不可) トイレ [使用可 → 施設のトイレ () 個、仮設トイレ () 個 使用不可 ()]
支援スタッフ	医師 常駐 () 名、巡回 (無 ・ 有) → 週 () 回 保健師 常駐 () 名、巡回 (無 ・ 有) → 週 () 回 看護師 常駐 () 名、巡回 (無 ・ 有) → 週 () 回 栄養士 常駐 () 名、巡回 (無 ・ 有) → 週 () 回 その他 () 名 ()
支援物資	水 (無 ・ 有) → (十分 ・ 不十分) 水以外の飲料 (無 ・ 有) → (十分 ・ 不十分) 弁当 (無 ・ 有) → (十分 ・ 不十分) 食品 (無 ・ 有) → (十分 ・ 不十分) これまでに届いた食品 () 栄養機能食品・特別用途食品 (無 ・ 有) → (十分 ・ 不十分) 医薬品 (無 ・ 有) → (十分 ・ 不十分) 毛布 (無 ・ 有) → (十分 ・ 不十分) 提供主体 (行政 ・ 自衛隊 ・ ボランティア)
炊き出し	(行っていない ・ 行っている) → (開始日 平成 年 月 日) 調理者 (行政 ・ 自衛隊 ・ ボランティア ・ 避難住民)
食事内容	(主食 ・ たんぱく質を多く含む食品 (肉、魚、卵、乳類等) ・ 野菜 ・ 果物) ※記入日またはここ 2-3 日の状況をご記入下さい。
避難住民の状況	
避難所住民数	収容人数 () 名 男女比 (男 : 女) 年齢層 ()
特別な配慮が必要な方	乳幼児 (いる ・ いない) () 名 妊産婦 (いる ・ いない) () 名 高齢者等嚙下困難な方 (いる ・ いない) () 名 慢性疾患等で食事制限が必要な方 (いる ・ いない) () 名 食物アレルギーがある方 (いる ・ いない) () 名 対応状況 (おおむね対応できている ・ 対応できていない) 理由 ()
自由記載欄(困っていること等)	

被災者健康相談票

相談日 年 月 日

No	担当者名
種別	・面接→避難所名又は住所 () ・TEL (電話番号:) ・その他 ()
相談者氏名	
対象者	・本人 ・本人以外→氏名 () (続柄:)
※以下は、対象者の方についてご記入下さい。	
生年月日	明治・大正・昭和・平成 ()年()月()日()歳
対象者属性	・乳幼児 ・妊婦 ・授乳婦 ・食物アレルギー
現病歴	・糖尿病 ・高血圧 ・腎臓病 ・その他 ()
現病歴の治療状況	現在の服薬状況 (中断 ・ 継続) 薬品名 ()
これまでの食事制限	食事制限 (有 ・ 無) 具体的な制限内容 ()
現在の自覚症状	・発熱 ・吐き気 ・便秘 ・下痢 ・口腔内症状 () ・歯に関する症状 ・その他 ()
現在の食事内容	乳児の場合 (母乳 ・ 粉ミルク ・ 混合) 離乳食 (開始 ・ 未開始)
	子ども・成人・妊婦・授乳婦・高齢者の場合 (主食 ・ たんぱく質を多く含む食品(肉、魚、卵、乳類等) ・ 野菜 ・ 果物) 具体的な食事内容 ()
	1日の食事回数 (1回 ・ 2回 ・ 3回 ・ その他 ())
	食欲 (有 ・ 無)
	水分摂取状況 (ml)
身体活動	(1日座位、寝ていることが多い ・ 身体を動かしている)
相談内容	
指導内容	
今後の支援計画	(解決 ・ 継続)
自由記載欄	

被災者栄養相談票（経過用紙）

栄養3

救護場所		氏名		No
年月日 相談方法	相談内容		指導内容	担当者

資料 8

厚生労働科学班会議での報告について

【中央卸売市場】

議題

浜松市中央卸売市場における大規模災害対応

1 防災訓練の実施状況

浜松市中央卸売市場総合防災訓練実施要領に基づき実施

- ・中央卸売市場総合防災訓練／年 1 回
- ・津波避難訓練 ／年 1 回

2 生鮮食料品の確保

浜松市としては、全国中央卸売市場協会災害時相互応援に関する協定及び全国中央卸売市場協会関東支部災害時相互応援に関する協定に基づき、協定を結んでいる市場から生鮮食料品の提供を受ける。

3 卸会社及び仲卸組合関係で、災害時の応援体制はあるか？

- 青果：なし
- 水産：なし

4 生鮮食料品の提供

- ・市からの注文であれば、調達課の指示のもと提供する。
- ・小売店(売買参加者・買出人)への販売は、市場取引ルールに基づき提供する。

5 問題点

- ・停電などにより、温度管理の必要な生鮮食料品の鮮度保持が難しい。
- ・卸売市場法で、一般消費者の販売はできない。
- ・小売店(売買参加者・買出人)へ商品を販売するため、消費者への販売となると商品単位が大きい。
- ・果物を除くと、加工(料理)しなくては食べられない。

6 資料提示

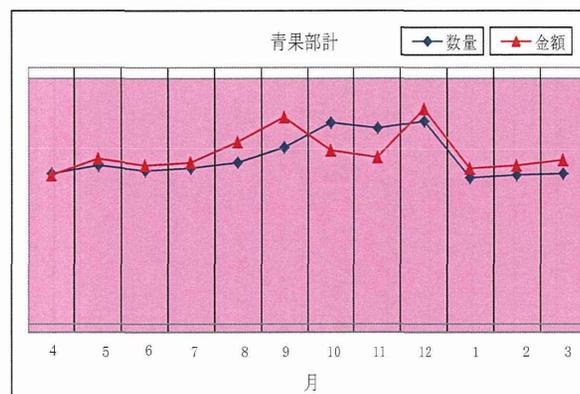
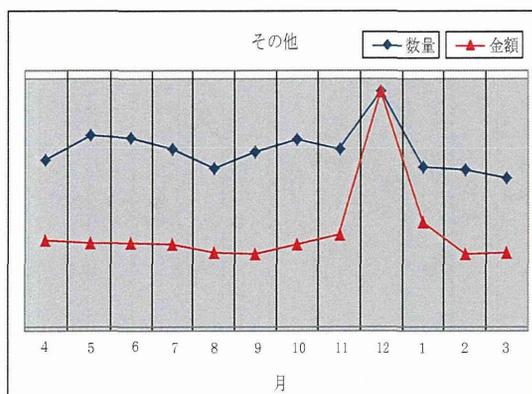
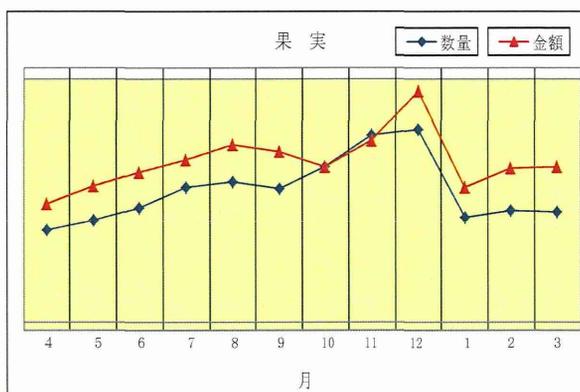
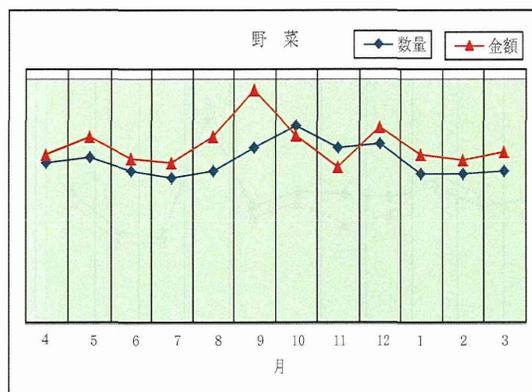
- ・平成 26 年度 青果・水産種別の月別取扱高

青果種別月別取扱高（平成26年度分）

数量=kg
金額=円(税込)

年	月	野菜		果実		その他		青果部計	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
2014	4	6,525,061.02	1,325,833,988	1,987,847.59	649,471,676	201,811.09	47,161,137	8,714,719.70	2,022,466,801
2014	5	6,793,100.23	1,460,837,354	2,161,409.48	748,587,709	232,776.32	45,459,857	9,187,286.03	2,254,884,920
2014	6	6,198,583.60	1,293,156,199	2,414,163.76	817,368,283	227,933.22	45,633,848	8,840,680.58	2,156,158,330
2014	7	5,935,166.48	1,255,657,609	2,837,537.45	889,138,074	215,218.65	44,655,235	8,987,922.58	2,189,450,918
2014	8	6,220,945.80	1,466,608,853	2,935,044.74	969,395,494	193,271.78	40,401,982	9,349,262.32	2,476,406,329
2014	9	7,151,004.50	1,834,203,121	2,787,878.16	932,708,426	211,837.55	39,478,111	10,150,720.21	2,806,389,658
2014	10	8,041,375.74	1,467,996,253	3,245,680.31	854,299,243	226,777.45	45,105,683	11,513,833.50	2,367,401,179
2014	11	7,172,662.29	1,226,200,772	3,860,289.13	998,133,844	216,324.95	50,389,528	11,249,276.37	2,274,724,144
2014	12	7,335,280.82	1,540,690,034	3,985,312.90	1,264,709,902	284,748.96	128,701,756	11,605,342.68	2,934,101,692
2015	1	6,110,590.17	1,321,690,460	2,216,306.07	741,193,280	194,570.09	57,175,355	8,521,466.33	2,120,059,095
2015	2	6,084,451.26	1,272,540,488	2,366,705.50	844,498,371	191,196.28	39,436,368	8,642,353.04	2,156,475,227
2015	3	6,186,259.72	1,338,505,110	2,327,977.59	854,725,938	181,858.34	40,601,107	8,696,095.65	2,233,832,155
計		79,754,481.63	16,803,920,241	33,126,152.68	10,564,230,240	2,578,324.68	624,199,967	115,458,958.99	27,992,350,448

数量金額の推移

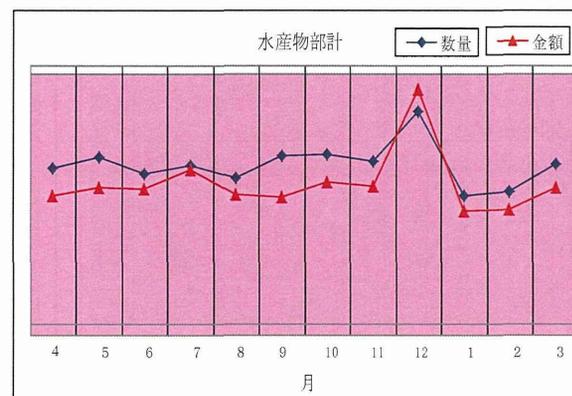
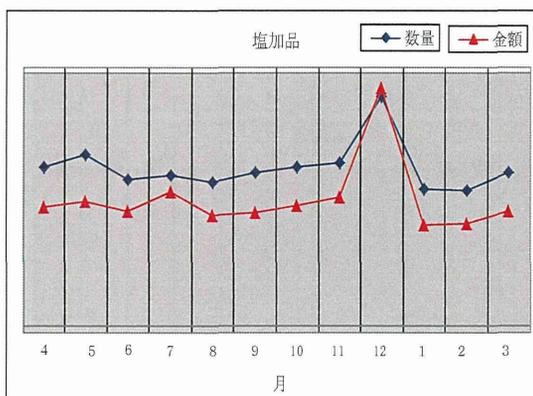
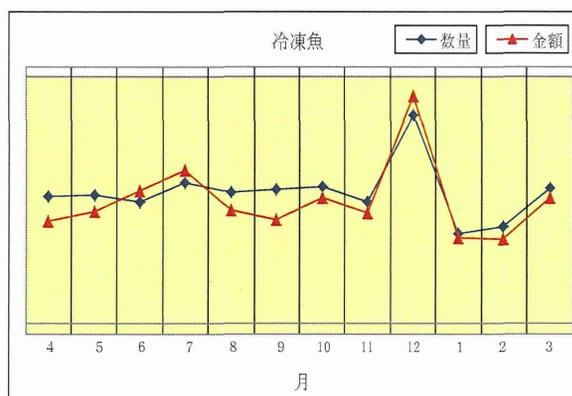
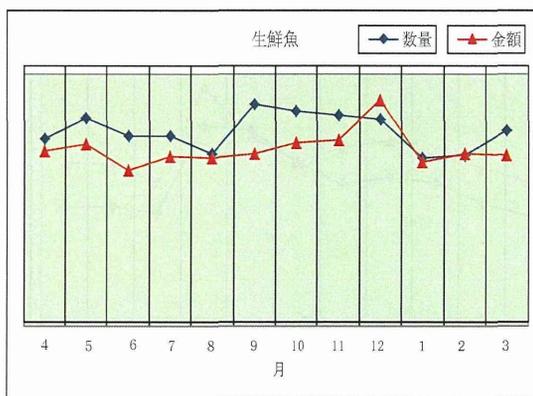


水産種別月別取扱高（平成26年度分）

数量=kg
金額=円(税込)

年	月	生鮮魚		冷凍魚		塩加品		水産物部計	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
2014	4	1,038,306.43	798,150,643	744,085.06	791,950,708	760,194.27	639,970,082	2,542,585.76	2,230,071,433
2014	5	1,148,862.47	826,250,250	755,476.00	867,501,732	819,740.39	672,853,422	2,724,078.86	2,366,605,404
2014	6	1,049,922.01	706,664,902	717,221.10	1,025,224,385	704,615.98	619,699,488	2,471,759.09	2,351,588,775
2014	7	1,053,518.10	773,173,508	817,120.50	1,188,581,687	726,061.78	722,451,796	2,596,700.38	2,684,206,991
2014	8	950,744.94	765,043,439	763,941.69	879,311,320	692,097.23	595,312,524	2,406,783.86	2,239,667,283
2014	9	1,229,577.16	785,571,383	785,707.44	806,387,793	734,765.73	611,328,411	2,750,050.33	2,203,287,587
2014	10	1,188,928.63	833,237,920	798,980.53	976,434,610	765,497.61	648,153,506	2,753,406.77	2,457,826,036
2014	11	1,163,777.90	849,752,607	714,656.59	860,048,355	780,364.77	689,840,635	2,658,799.26	2,399,641,597
2014	12	1,143,698.96	1,032,877,367	1,189,661.19	1,769,436,409	1,090,270.71	1,284,731,427	3,423,630.86	4,087,045,203
2015	1	933,125.29	743,721,606	543,920.33	659,919,072	660,186.64	546,431,259	2,137,232.26	1,950,071,937
2015	2	947,462.43	781,761,063	579,193.73	647,773,963	655,061.80	548,819,001	2,181,717.96	1,978,354,027
2015	3	1,084,386.37	774,873,774	791,346.74	974,488,300	737,824.60	614,225,445	2,613,557.71	2,363,587,519
計		12,932,310.69	9,671,078,462	9,201,310.90	11,447,058,334	9,126,681.51	8,193,816,996	31,260,303.10	29,311,953,792

数量金額の推移



1 食肉市場業務の現状

- ・と畜は、主に牛・豚を対象に行っている。
- ・平成 26 年度のと畜頭数＝ 牛 4,085 頭／年、 豚 108,144 頭／年
- ・衛生管理面＝ 生体検査、採血、聴診、体温、内臓検査、枝肉検査等を検査員（獣医師）が行い、安全な食肉を提供している。
- ・出荷地

牛	浜松市 39.5%、湖西市 15%、富士宮市 11.7%、豊橋市 8.1%
豚	湖西市 37.5%、豊橋市 23.1%、田原市 15.9%、浜松市 14.6%
- ・市場内の食肉は、殆どが枝肉の状態で保管されている。（1 頭あたり牛 470kg、豚 80kg）

2 災害発生時の対応

(1) 予知情報発令時の対応

- ・既に搬入されている家畜は、地震に備えて逃げ出さないように係留し、係留所出入口のシャッターを閉める。（荷受責任者が責任を持って処置）
- ・当日予約があり、未だ搬入されていない家畜については搬入を中止する。
- ・生体については、速やかにと畜解体する。市場業務は、速やかに進め出庫を図る。
- ・冷蔵庫内の枝肉等の製品は、速やかに冷蔵庫を空にすることを原則とする。

(2) 地震発生直後の対応（情報収集、対応策）

- ① 対策本部を設置する。
- ② 従事者等の安否確認をする。ケガ人等の救助を行う。
- ③ 建物・設備等の被災状況の情報を収集する。
 - ・火災が発生した場合は、消防計画に基づき消火にあたる。
 - ・二次災害を防ぐため、漏電、燃料漏れ等の応急措置を行う。
- ④ 繫留所の家畜が逃亡していた場合は、捕獲して繫留所へつなぐ。
- ⑤ 冷蔵庫内の枝肉製品が無事か確認する。品質低下前に速やかな出庫を指示。
- ⑥ 非常用自家発電機の動作確認をし、漏電等がない場合は稼働する。

3 復旧に係る日数

- ・復旧の条件が揃った場合

4 災害時における食肉確保

- ・食肉市場での保管は枝肉状態となっているため、食肉確保については想定していない。
（枝肉から部分肉、精肉への加工が必要⇒ 買受人等が加工）

5 食肉提供の問題点

- ・枝肉のままでは食肉にできない。部分肉・精肉への加工が必要。
- ・食肉の保管が常温だと半日しかもたない。（12 時間を超えると細菌数が増加する）
- ・被災後の衛生管理がどの程度できるか。
- ・被災後に家畜農家からの搬入ができるか。（トラックでの搬入）
- ・漏電による火災防止（二次災害防止への対応）

6 復旧への課題

- ・と畜場・市場の復旧条件＝ 電気・水の確保、機械設備に故障がない、廃棄物受入先の対応、衛生的な処理、家畜農家からの出荷、従事者の確保。
- ・中部電力の復旧、市水・工業用水の復旧がいつになるか。
- ・被災後における他食肉市場（食肉センター）との連携

浜松市食肉地方卸売市場のと畜頭数

1 と畜頭数調(月別)

(単位：頭)

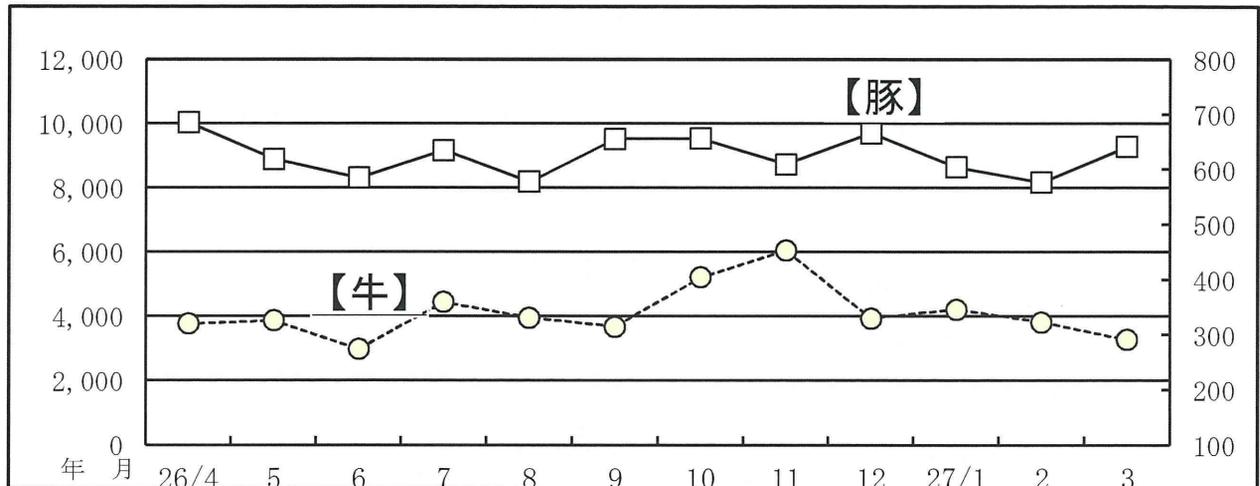
畜種	26/4	5	6	7	8	9	10	11	12	27/1	2	3	計
牛	320	326	274	359	331	315	404	453	330	346	323	291	4,072
豚	10,030	8,892	8,306	9,167	8,187	9,522	9,530	8,730	9,701	8,638	8,168	9,273	108,144
こ牛	1	3		4			2				2	1	13
めん羊	2			2		2						2	8
計	10,353	9,221	8,580	9,532	8,518	9,839	9,936	9,183	10,031	8,984	8,493	9,567	112,237

【豚】

と畜頭数(頭)

【牛】

と畜頭数(頭)



出荷地

